

高岡タイムトラベル



太田（太田地区）

当時のお話

いちかわ ひとし
一川 仁司さん

写真は、大正の終わりから昭和初め頃のもので、戦前の太田尋常小学校（現在の太田小学校）の校舎と子どもたちの様子です。これは、父のアルバムから見つけた一枚で、ちょうど父が小学校に通っていた頃のものだと思います。当時は一世帯に子どもが多く、父が13人兄弟だったことから、当時の小学校は賑やかだったと想像できます。

私が生まれたのも第一次ベビーブームの始まりの頃で、同級生は約90人いました。しかし、だんだんと子どもが少なくなり、現在は太田小学校の全校児童数は約80人。写真をみると、「今もこれくらい児童がいたらいいな」としみじみ感じます。

高岡タイムトラベル



中曽根（牧野地区）

当時のお話

どい とよかず
土肥 豊一さん

写真は昭和45年頃のもので、越ノ潟を埋め立てて富山新港を造成している様子です。この地面のほとんどが射水市ですが、一部に牧野地区も含まれています。

昔は、この地域の田んぼの多くが沼田で、腰や胸までつかって田植えをするなど苦労があったと聞いています。この頃の富山新港の整備事業とともに乾田化事業や区画整理も進められ、地域の産業が急速に発展していきました。

あれから約50年が経過した現在、用排水路の老朽化などに伴い、中曽根地区では地域の優良な農地を守るため新たな基盤整備が進められています。

